

# 社会・労働関係文献月録

・分類表は2005年12月号に掲載されています。  
 ・収録誌の一覧は1991年6月号に掲載されています。  
 ・掲載文献は研究所で閲覧・複写できます。所内での複写は有料です。なお、文書等（葉書・FAX・e-mail 可）で申込みの場合は、複写料および送料実費で申し受けます。定期購読者に限り、複写料は割引させていただきます。

法政大学大原社会問題研究所編 ☎ 042-783-2305  
 東京都町田市相原町 4342 (〒 194-0298) F. 042-783-2311

2006. 4. 1 ~ 2006. 4. 30 受け入れ分

(文献資料名) (著者名) (収録誌名) (巻-号) (月 号)  
 \*印単行書の場合→ (発行所) (判・頁) (刊行年月)

## I 理論・一般

### 0. 総記

「少子人口減社会」の総合経済政策	桜井等至	生駒経済論叢 (近畿大)	3-2	05.12
社会的排除としてのホームレス問題	中嶋陽子	いのちとくらし研究所報	13	05.11
特集 感情労働論—スキルとしての感情管理		大原社会問題研究所雑誌	566	06. 1
欲望喚起装置としての感情労働 (崎山治男) 感情管理とサービス労働の統制 (鈴木和雄)				
次世代育成政策と年金改革	丸尾直美	改革者	546	06. 1
特集 リサイクル貧乏からの脱却		月刊自治研	555	05.12
容り法の改正と市民参加 (寄本勝美) 循環型社会の経済ルール (倉阪秀史) 廃棄物会計の調査活動でわかったこと (山本義美) 施行後一〇年を迎える容器包装リサイクル法と市区町村 (庄司 元) 市民からの発信 (中井八千代) 拡大生産者責任をどう受け止めるか (鄭 智允)				
*ホーボー 下	ネルス・アンダーソン著 広田康生訳	ハーベスト社	A5.236	00.11
*心のかげはし		和歌山人権研究所	A5.45	05. 1
*障害者運動と価値形成	田中耕一郎	現代書館	A5.331	05.11
*企業とガバナンス 伊丹敬之, 藤本隆宏, 岡崎哲二, 伊藤秀史/沼上幹編 有斐閣			B6.384	05.12
*『資本論』も読む	宮沢章夫	WAVE出版	B6.263	05.12
*マルクスに誘われて	的場昭弘	亜紀書房	B6.256	06. 2
*日米雇用処遇用語集		社会経済生産性本部生産性労働情報センター	B6.262	05.12
*戸籍と人権	二宮周平	解放出版社	A5.106	06. 2
*変化する社会の不平等	白波瀬佐和子編	東京大学出版会	B6.244	06. 2
*ボランティア論	川村匡由編著	ミネルヴァ書房	A5.233	06. 2
*人権を語るリレーエッセイ	大阪府人権協会編	大阪府人権協会	A5.48	06. 3
*新社会人白書 森清, 夏目孝吉, 斎藤幸江, 岩間夏樹		社会経済生産性本部	B5.139	06. 3
*豊かな経験を活かしていきいき高齢社会を!	心力舎編	ダイヤ高齢社会研究財団	B40.95	06. 3
*少子化する高齢社会	金子 勇	NHK出版	B6.219	06. 2
*エイジフリー社会を生きる	清家 篤	NTT出版	B6.253	06. 2
*ワークライフバランス社会へ	大沢真知子	岩波書店	B6.229	06. 3

### 1. ジェンダー・フェミニズム・女性論

「ジェンダー予算分析」をどう実践していくか (インタビュー) 村松安子 女たちの21世紀			44	05.秋
特集 ジェンダー・バッシングに抗して	アジェンダ	未来への課題	11	05.冬号
ジェンダー攻撃に負けるな! (三井マリ子) 学校教育とジェンダー, ジェンダーフリー教育 (遠矢家永子)				
七生養護学校性教育へのバッシング (インタビュー) (洪美珍・聞き手:石橋正) 憲法24条改正をめぐる問題 (坂本洋子) 住友電工男女賃金差別訴訟 (宮地光子) ジェンダー・バッシングなんて怖くない (船橋邦				

子)

アジア途上国農村地域におけるジェンダー平等と日本のNGOによる国際協力

	塚本善弘	アルテス	リベラレス (岩手大)	77	05.12
エンパワメントとしての英語力とジェンダー	小林葉子	アルテス	リベラレス (岩手大)	77	05.12
ジェンダー視点から「新自由主義への対抗」を考える	イダ・ヒロユキ	季刊ピープルズ・プラン		32	05.11
特集 ノルウェーの男女平等		月刊権利闘争		349	05.11
ノルウェーの男女平等, 日本で見ると男女平等 (ハンネ・クナルビク・スベンデセン) 男女平等-日本とノルウェー, データで見れば (福田 徹)					
ジェンダーの視点でニート問題を考える	金谷千慧子	月刊ビューマンライツ		213	05.12
特集 ねらわれる憲法24条		人権と部落問題		57-14	05.12
なぜねらわれるのか「九条と二四条」(井上美代) 現代改憲論における二四条改変構想 (立石直子)					
平塚らいてうの母性主義フェミニズムと優生思想	岡田英己子	人文学報 (東京都立大)		361	05.3
国連と女性	柴田悦子	前衛		799	06.1
「ジェンダー」の展開と日本の男女差別の是正	平兼悦子	前衛		800	06.2
家父長制とジェンダー分業システムの起源と展開	衛藤幹子	法学志林 (法政大)		103-2	05.12
*愛という名の支配	田嶋陽子	講談社		A6.285	05.12
*やさしく学ぼう女性の権利		国際女性の地位協会 (製作: 尚学社)		B5.67	05.5
*ジェンダーで学ぶ教育	天野正子, 木村涼子編	世界思想社		B6.295	05.6
*生きがいの女性論	飯田史彦, 三砂ちづる	P H P 研究所		B6.253	06.1
*トランスジェンダー・フェミニズム	田中 玲	インパクト出版会		B6.158	06.3
<b>2. 労働論</b>					
「終身雇用」の変質とリストラの正当性	吉村大吾	経済論究 (九州大)		123	05.11
公務労働と労働者	田島恵一	社会主義		520	05.12
労働分配率の長期的動向	高島浩之	商学論纂 (中央大)		46-6	05.8
サービス生産をどう理解するか (再反論)	川上則道	政経研究		85	05.11
サービス労働, 労働力価値形成の問題点	飯盛信男	政経研究		85	05.11
労働契約の基本的諸問題 (3)	柳澤 旭	山口経済学雑誌		54-3	05.7
<b>3. 労使(資)関係論</b>					
機械化の進展と雇用・労務管理の変化	木村牧郎	オイコノミカ (名古屋市立大)		42-2	05.11
有期労働契約における期間設定と使用者の予測責任 (2) 石原和子		愛知大学国際問題研究所紀要		126	05.10
イギリス二〇〇四年雇用関係法の制定と労使関係法改革の展望 (2)	鈴木 隆	島大法学		49-3	05.11
最近の韓国の労使関係 (報告)	中野隆宣	世界の労働		55-11	05.11
フランスにおける企業組織変動と労働契約承継 (1)	水野圭子	法学志林 (法政大)		103-2	05.12
<b>5. 経営労務論</b>					
*個人情報保護と労務管理	木村大樹	労働調査会		A5.267	05.10
*人的資源管理の基礎と展開	横山正博	中央経済社		A5.254	05.10
*多元連動型人事制度	松尾友重	鳥影社		B6.126	06.2
<b>7. 社会保障論</b>					
介護へのとりくみについて (座談会)					
(鈴木洋 松本弘道 森尾嘉昭 武井幸穂 司会: 石塚秀雄)		いのちとくらし研究所報		13	05.11
途上国の年金制度について (日本の年金問題を参考として) 仁科克己		国際協力論集 (神戸大)		13-2	05.11
障害年金における「国民皆年金」の法理	高藤 昭	社会志林 (法政大)		52-3	05.12
経済格差と社会保障	広井良典	週刊社会保障		2360	05.12.5
高齢化社会とQuality of Life (QOL) の指標化	新田 功	明治大学社会科学研究所紀要		43-2	05.3
<b>8. 社会福祉論</b>					
人間発達に関する社会指標化についての一考察	田中きよむ	高知論叢 社会科学		84	05.11
グローバルな持続可能な福祉社会へのプロレゴメナ	上村雄彦	公共研究 (千葉大)		2-3	05.12
持続可能な福祉社会に向けてのスケッチ	倉阪秀史	公共研究 (千葉大)		2-3	05.12

福祉国家の転換と課題	廣川嘉裕	関西大学法学論集	55-3	05.9
児童手当の再編に関する覚え書き	山田 晋	社会学・社会福祉学研究 (明治学院大)	121	05.9
老人福祉法制定過程の介護概念に関する一考察	上之園佳子	社会学論叢 (日本大)	154	05.11
生活時間と介護の社会化	小林良二	人文学報 (東京都立大)	361	05.3
健康と福祉の社会経済学序説 (上)	武井 昭	高崎経済大学論集	48-2	05.9
社会福祉法人における経営分析 (上)	井出健二郎	和光経済	38-1	05.11
* コミュニティケアと社会福祉の展望	渡辺洋一	相川書房	A5.288	05.10
* 現代社会福祉のすすめ	馬場茂樹, 和田光一編著	学文社	A5.238	06.1
<b>11. 職業教育・訓練論</b>				
On the vocational career development and labor market	Kazuyuki Mogi/Kuo-lin Wang	高崎経済大学論集	48-2	05.9
<b>II 労働問題</b>				
<b>20. 総記</b>				
* 東京都雇用・就業対策審議会答申	東京都産業労働局雇用就業部企画開発室		A4.59	05.12
<b>21. 雇用・労働市場</b>				
希望が未来を照らす(対談) (玄田有史・樋口美雄)	国民生活金融公庫調査月報 (Monthly Report)		537	06.1
<b>22. 労働条件</b>				
人事院勧告と国立大学法人の労働条件	深谷信夫	労働法律旬報	1612	05.11.下旬
<b>23. 賃金問題</b>				
本誌調査 研修時の日当, 時間外・休日労働の取り扱いをみる	企業と人材編集部	企業と人材	872	05.12.20
2005年度賃金実態等総合調査報告	私鉄総連企画調査局	私鉄総連調査月報	304	05.12
2005年度国家公務員のモデル給与と民間企業のモデル給与比較	政経研究所	旬刊人事と厚生	1736	05.11.27
学歴別モデル夏季賞与	政経研究所	旬刊人事と厚生	1737	05.12.7
2005年 海外駐在員の給与	労務行政研究所編集部	労政時報	3667	05.12.9
本誌出張旅費調査 2005年国内出張旅費調査	労務事情編集部	労務事情	1088~1089	05.12.1,15
<b>24. 労働時間</b>				
特集 ワーク・ライフ・バランス	電機総研リポート		310	05.12
ワーク・ライフ・バランスとは (講演) (脇坂 明)	労働組合の女性施策に対する効果 (脇坂 明)			
公立学校教師の超勤問題について	萬井隆令	労働法律旬報	1610	05.10.下旬
<b>25. ホワイトカラー労働</b>				
アメリカのホワイトカラー労働者の労働時間規制	梶川敦子	世界の労働	55-11	05.11
ホワイトカラーの労働時間管理	西野俊行	労働法学会研究報告	2370	05.12.1
ホワイトカラー労働と労働時間法制	盛 誠吾	労働法律旬報	1610	05.10.下旬
<b>26. パート・派遣労働</b>				
派遣労働者と法	鈴木芳明	大分大学経済論集	57-4	05.11
パートタイム労働と均等待遇を求める運動	伊藤みどり	季刊ピープルズ・プラン	32	05.11
特集 非常勤職員の組織化		国公労調査時報	516	05.12
パート・臨時労働者を組織化する際の課題 (八谷真智子)	霞が関本省庁で働く非常勤職員はいま (浅尾大輔)	非常勤職員と青年の組織拡大問題について (阿久津光)		
* 田園・里山ハローワーク		農山漁村文化協会	A5.260	05.11
* 日本のニート・世界のフリーター	白川一郎	中央公論新社	B40.235	05.11
* 雇用形態の変化とニートについて 玄田有史著	内外経済情勢懇談会編	統計研究会	A4.74	05.12
* 労働者派遣と請負・業務委託・出向の実務	安西 愈	労働調査会	A5.327	05.9
<b>28. 女性労働</b>				
既婚女性の労働供給における政策グリッドコンピューティング実験	鶴飼康東, 村田忠彦, 北埜裕子	関西大学経済論集	55-3	05.12

女性は職業経歴と家族経歴をどう調整してきたか？	大和礼子	関西大学社会学部紀要	37-1	05.10
特集 男女雇用機会均等法 20年の足跡とこれから		季刊女も男も	105	05.秋
その時均等法の扉が開いた（山野和子）改正均等法までの長い道のり（インタビュー）（高島順子）				
特集 女性医師・歯科医師の労働環境はいま		月刊保団連	880	05.12
現状と取り組み（椿尾百合子）女性医師支援対策（清野佳紀）わが国の女性医師問題を考える（埴田和史）				
韓国の女性労働の現況（報告）	高島順子	世界の労働	55-11	05.11
男女雇用機会均等法改正に向けての課題	秋田ふさ子	部落問題研究	174	05.12

30. 若年労働

若者が人間らしく働ける職場と社会づくりへ	日野徹子	前衛	800	06.2
特集 ひきこもり・不登校と社会へ踏み出す仕事体験		中小商工業研究	86	06.1
ニート支援に関する「？」（津富 宏）雇用主による就労支援－静岡方式（津富 宏）				
若者の就労をめぐる問題と社会的自立支援の課題	児美川孝一郎	賃金と社会保障	1407	05.12.上旬
ILOとアジア	中野育男	労働法律旬報	1610	05.10.下旬
*若者が働くとき	熊沢 誠	ミネルヴァ書房	B6.220	06.2
*使い捨てられる若者たち スチュアート・タノック著	大石徹訳	岩波書店	B6.293	06.3

31. 中高年労働

NPO法人による退職高齢者を活用した組織運営の可能性	松本 元	経済論究（九州大）	123	05.11
----------------------------	------	-----------	-----	-------

33. 外国人労働

外国人労働者と労働組合	鈴木宏昌	スタデイ	44-11	05.11
外国人労働者問題を考える視点	末廣啓子	スタデイ	44-11	05.11
*外国人労働者の雇用・研修生受入れ手続	佐野秀雄, 佐野誠著	黒木忠正監修		
		日本加除出版	A5.213	05.11
*外国人労働者問題と人口減少社会の雇用戦略	高梨昌編著	社会経済生産性本部	A5.114	05.12

35. 労災, 職業病, 健康問題

特集 船員の石綿（アスベスト）問題		海員	57-12	05.12
アスベストの医師（インタビュー）石綿（アスベスト）対策の現状と課題（三尾 勝）船員アスベスト取材ノートから（大野一夫）				
*職場のメンタルヘルス	日本産業衛生学会・産業精神衛生研究会編	中央労働災害防止協会	B5.290	05.10

36. ハラスメント

*壊れる男たち	金子雅臣	岩波書店	B40.225	06.2
---------	------	------	---------	------

III 労働運動

40. 総記

国鉄「分割・民営化」は国民・労働者に何をもたらしたか	建交労 全国鉄道本部			
		建交労雑誌版	理論集27	05.冬
*建設労働の今・未来	全日本建設交運一般労働組合・建設政策研究所		A4.324	05.10

41. 労働組合・運動論

労働運動は「われらの世界」を築けるか	遠藤一郎	季刊ピープルズ・プラン	32	05.11
二〇〇人の組合でも大企業や政府, そして社会を動かします！	菅原良子	前衛	800	06.2
カナダの労働組合組織率	土屋直樹	武蔵大学論集	53-2	05.12

42. ナショナルセンター

米国ナショナルセンターの分裂をどうみるか	高須裕彦	金融労働調査時報	660	05.10
----------------------	------	----------	-----	-------

46. 賃金闘争(含 生活改善闘争)

特集 賃金改善めざし06春闘始動		月刊労働組合	487	05.12
着実に前進している中小共闘（小出幸男）パート共闘の前進に向けて（高石修 千頭洋一）賃金の社会横断化めざす（中野治理）労働分配率めぐる労使の対立（浅井茂利）				
特集 2006春闘の情勢と課題		月刊労働組合	488	06.増刊号
賃金下落の長期化と必要な規制力（労働大学調査研究所）“二極化社会”への対抗軸（龍井葉二）賃金破壊に産別最賃確立で対抗（待鳥康博）雇用形態の壁をこえ格差是正へ（鴨 桃代）EU拡大で利用される賃				

金格差 (松村文人)

49. 権利闘争				
鉄建公団訴訟9・15判決と国鉄闘争今後の展望(上)	川副詔三	労働運動研究	12	05.12
*活かそうILO勧告いま「公務員制度改革」を問う	川村祐三監修	連合通信編集部編 連合通信社	A5.71	03.1
*高齢者・障害者の権利擁護とコンプライアンス	高野範城他	あけび書房	A5.182	05.11
52. 労働組合と政治				
政党と労働組合との新しい関係を求めて	池谷知明	改革者	546	06.1
沖縄労働運動の階級的再生のカギ握る全駐労		コミュニケーション	34-1	06.1
54. 労働者福祉・協同組合運動				
非営利法人制度の税制	出口正之	社会運動	309	05.12

## IV 経営労務

61. 人事・労務管理				
個人情報保護法の施行に伴う人事労務管理上の留意点	峰 隆之	REPORT	43-9	05.12
日本的労務管理の再編と退職管理	井藤正信	愛媛経済論集	23-3	04.7
人事制度改革とキャリアの複線化	湯本 誠	札幌学院大学人文学会紀要	78	05.11
*賃金・処遇制度調査	全日本金属産業労働組合協議会 (IMF-JC)		A4.380	05.12
62. 賃金管理				
*企業における多様な働き方と賃金制度				
これからの賃金制度のあり方に関する研究会編		雇用情報センター	B5.200	05.7
64. 定年制, 退職金, 企業年金				
確定拠出年金の現在と今後(座談会)				
(黒田英樹 小林由紀子 鈴木博司 田中義宏 司会: 椋野美智子)		企業年金	316	05.12
2005年度退職金・年金制度等総合調査	私鉄総連企画調査局	私鉄総連調査月報	302	05.12
65. 福利厚生				
2005年版 民間企業対象 本誌第38回調査(上)～(下)持ち家取得支援制度調べ				
		旬刊福利厚生1891～1892	05.12.8,18	
66. 教育・訓練				
京都企業における人的資源開発と社外教育の実態				
具承桓, 久保亮一 京都マネジメント・レビュー(京都産業大)			8	05.12
*中小企業における労働者のキャリア形成支援のあり方に関する調査検討事業報告書		東京商工会議所	A4.51	05.3
*キャリア教育と就業支援	小杉礼子, 堀有喜衣編	勁草書房	B6.214	06.2
68. 安全衛生管理				
これからの化学物質管理(石綿)(講演)	古川祐二	安全と健康	57-1	06.1月別冊
労働安全衛生行政の動向(講演)	小野 晃	安全と健康	57-1	06.1月別冊
特集 アスベスト問題と中小建設業者の課題		中小商工業研究	86	06.1
アスベスト問題の現状と今後の対策に向けた課題(村山武彦)建設業でのアスベスト被害と労災補償, 解体・改修の課題(宮本 一)				
*使用者の職場環境配慮義務に関する実態調査(概要版)		東京都産業労働局東京都労働相談情報センター	A4.18	06.2

## V 労働・社会政策

71. 雇用・労働市場政策				
ドイツ労働市場改革立法の動向	名古道功	金沢法学	48-1	05.11
失業対策としての積極的および消極的労働市場政策の役割について		田中康秀		
		国民経済雑誌(神戸大)	192-6	05.12

75. 職業教育・訓練政策				
若年フリーターと年金教育	佐々木一郎	週刊社会保障	2361	05.12.12
76. 社会保障政策				
スウェーデンの老人ホームにおける介護サービス組織の構造	岡田耕一郎	東北学院大学経済学論集	160	05.12
改正法施行と自治体の新たな挑戦（座談会）				
（鏡論 菊池誠樹 角田禎子 鎌形喜代実 司会：石田光広）		介護保険情報	6-10	06.1
障害者自立支援法	尾上浩二	協同の発見	160	05.11
保険と年金の動向	厚生統計協会	厚生指標	52-14	05.11月臨時増刊
介護保険施設における介護報酬改定に対する意識および経営意識などに関する研究	藤林慶子	厚生指標	52-15	05.12
性に基づく区別と社会保障給付のあり方	尾形 健	甲南法学	46-1/2	05.10
社会保障構造改革－医療、介護はどうなったのか	瀬戸真一郎	社会主義	519	05.11月増刊
オランダにおける医療制度改革	松田晋哉	社会保険旬報	2263	05.12.1
介護保険と医療保険の非整合性	小山秀夫	社会保険旬報	2266	06.1.1
社会保障改革と医療保険の役割（上）（鼎談）（宮島洋 辻哲夫 高木安雄）		社会保険旬報	2266	06.1.1
医療・年金・介護を通じた社会保障制度の一体的見直しの課題	駒村康平	週刊社会保障	2364	06.1.2/9
高齢者ケアマネジメントにおける困難ケース	和気純子	人文学報（東京都立大）	361	05.3
アメリカの年金制度と改革の視点	関ふ佐子	世界の労働	55-11	05.11
特集 ドイツ最低生活保障制度の研究	ドイツ社会法典研究会	賃金と社会保障	1406	05.11.下旬
ドイツ社会扶助制度改革と自治体財政（武田公子）	ドイツにおける最低生活保障制度改革の実態調査報告			
（布川日佐史）ドイツ社会法典第二編・第一二編にみる二〇〇五年公的扶助法改革（嶋田佳広）				
持続可能で安定的な年金制度をどう構築するか	斉藤市朗	労働運動研究	12	05.12
* 諸外国における老齢所得保障の枠組みに関する研究		年金総合研究センター	A4.118	05.3
77. 社会福祉政策				
医療・福祉領域における権利擁護制度の検討（2・完）	高橋涼子	金沢法学	48-1	05.11
地域の福祉力を高めるために	市川一宏	月刊福祉	89-1	06.1
社会福祉養成教育の専門性と現場実習の効果の分析	清重哲男	厚生指標	52-15	05.12
アメリカの福祉国家再編	西山隆行	甲南法学	46-1/2	05.10
アメリカにおける社会福祉財政の改革	舟場正富	流通科学大学論集 経済・経営情報編	14-2	05.11
78. 労働法				
知的財産法と労働法（7）	永野秀雄	季刊労働法	211	05.12
特集 労働市場における新しい課題		季刊労働法	211	05.12
職業能力開発の法政策（有田謙司）労働市場と法－新しい流れ（諏訪康雄）労働市場と市場化テスト（小				
寫典明）派遣労働者の保護（勝亦啓文）下請労働者・派遣労働者の健康と安全の確保を（川人 博）変化する20代の労働市場（本田由紀）30代の転職行動（勇上和史）				
労働法の立法学（8）	濱口桂一郎	季刊労働法	211	05.12
知的財産法と労働法（6）	永野秀雄	季刊労働法	210	05.9
労働法制「改正」は雇用に何をもたらしたか	山田省三	社会主義	519	05.11月増刊
労働契約法制研究会報告	鳴海洽一郎	進歩と改革	649	06.1
変形労働時間制の下における変形期間途中での勤務変更の可否について（講苑）	畠中信夫	中央労働時報	1050	05.12
労働契約法としての労働基準法（4）	三井正信	広島法学	29-2	05.12
労働契約法制定の動向と問題点	中野麻美	労働運動研究	12	05.12
* 活かそう労働組合法	小林康二編著	連合通信社	A5.104	00.2
* 労働法解体	連合通信編集部編	連合通信社	A5.71	04.3
* 労働基準法解釈総覧 12版	厚生労働省労働基準局編	労働調査会	B6.743	05.12
* 労働審判制度	菅野和夫、山川隆一他	弘文堂	A5.278	05.12
* 今すぐ使える労働基準法と就業規則（付：CD）	松山正光	新星出版	A5.222	06.1

* 職場改善に役立つ労基法&判例のツボ	鴨田哲郎 <sup>監修</sup>	連合通信編集部編	連合通信社	A5.71	06.1
* 公務員労働基本権の再構築		渡辺 賢	北海道大学出版会	A5.335	06.2
<b>79. 労働判例</b>					
特集 賃金をめぐる最近の判例動向			季刊労働法	211	05.12
荒川税務署長（ストック・オプション）事件・最高裁判決（最判平成17・1・25（判時1886・18））をめぐって（矢吹公敏）最近の賃金減額をめぐる裁判例の動向（水口洋介）企業年金の減額・廃止をめぐる最近の判例動向（根岸 忠）					
入社前研修不参加を理由とする内定取り消しは違法	佐竹真之		労働法学研究会報	2370	05.12.1
自然経過を超えた疾患の発症に業務起因性を肯定	小林克信		労働法学研究会報	2371	05.12.15
労働者と家族介護の課題	清水弥生		労働法律旬報	1610	05.10.下旬
岡谷鋼機事件高裁判決に向けて	和田 肇		労働法律旬報	1612	05.11.下旬
経営政策による業務の一部外部化とそれにとまなう整理解雇の効力		戸谷義治	労働法律旬報	1611	05.11.上旬
債務法改正（約款規制法の書式労働契約への適用）と撤回留保条項の有効性への影響		小俣勝治	労働法律旬報	1611	05.11.上旬
日本ヒルトンホテル事件にみる事実認定と判決	小林讓二, 船木龍夫		労働法律旬報	1611	05.11.上旬
<b>80. 労働委員会</b>					
地方労働委員会の労働者委員推薦制度の法的性格	大和田敢太		彦根論叢（滋賀大）	355	05.9
* 労働争議調整史録			中央労働委員会事務局	A5.212	05.12
* 茨城県労働委員会60年の歩み			茨城県労働委員会	A4.95	06.2
<b>Ⅵ 世界労働</b>					
<b>91. アジア</b>					
南朝鮮・韓国 民主労総, 12・1ゼネストを宣言	室田順子		コミュニケーション	34-1	06.1
韓国の社会労働事情	渡部昌平		世界の労働	55-11	05.11
<b>95. 北アメリカ</b>					
ノースウエスト航空のストライキ（上）	ピーター・ラシュレフ	訳：丹沢望	コミュニケーション	34-1	06.1
アメリカの社会労働事情（講演）	宮本悦子		世界の労働	55-11	05.11
<b>98. 国際労働運動</b>					
変化のなかの国際労働組合運動	筒井晴彦		経済	124	06.1
AFL-CIO分裂の意味（報告）	秋元 樹		世界の労働	55-11	05.11
<b>Ⅶ 歴史</b>					
<b>100. 総 記</b>					
* 高知県経営者協会創立60周年記念誌	創立60周年記念行事実行委員会編		高知県経営者協会	A4.57	06.2
<b>101. 生活・労働史（日本）</b>					
* 脱イデオロギーの部落史	塩見鮮一郎		にんげん出版	B6.220	05.12
* 明治の結婚明治の離婚	湯沢雍彦	角川学芸出版（発売：角川書店）		B6.251	05.12
* 足尾銅山史	村上安正		随想舎	B5.654	06.3
<b>102. 生活・労働史（外国・国際）</b>					
* 黒い町	ジョルジュ・サンド著	石井啓子訳・解説	藤原書店	B6.291	06.2
* 纏足の靴	ドロシー・コウ著	小野和子, 小野啓子訳	平凡社	A5.213	06.2
<b>108. 労働運動史（日本）</b>					
1980年代の山形県における全通労働運動（7・完）	岩本由輝		東北学院大学経済学論集	160	05.12
* 10・29労働運動シンポジウム記録集新たな挑戦へ			労働運動シンポ実行委員会	A5.134	06.2
* 沖縄労働運動史	沖縄労働運動史25年の歩み編集委員会編		沖縄県労協センター	A5.1085	95.4
* 高教組二十五周年運動史	二十五周年運動史編集委員会編				
			沖縄県高等学校障害児学校教職員組合	B5.1479	96.11
* 佐谷晃能映画美術監督労災補償問題			日本映像職能連合佐谷問題対策委員会	B5.176	97

110. 社会主義運動史（日本）

*戦後左翼はなぜ解体したのか	寺岡衛著 江藤正修編	同時代社	B6.251	06.1
*大正期の政治思想と大杉栄	竹山護夫	名著刊行会	B6.299	06.1

112. 諸社会運動史

特集 差別文書事件の闇にせまる		部落解放	559	06.1
「連続・大量差別はがき事件」が私に突きつけたもの（浦本誉至史）「連続・大量差別はがき事件」の犯人 Sさんへ（白井俊一）その根深きもの（対談）（太田明 志村康）				
*水平社宣言・解放歌（付：CD）	守安敏司，藤田正，朝治武	解放出版社	A5.78	05.10
*声を刻む	中村一成	インパクト出版会	B6.231	05.6
*水俣病誌	川本輝夫	世織書房	A5.773	06.2
*布施辰治植民地関係資料集 2	森正解説	布施辰治資料研究準備会	B5.309	06.3
*山口孤剣小伝	田中英夫	花林書房	B6.618	06.3

★訂正とお詫び

先頃刊行されました『日本労働年鑑』第76集に重大なミスがありました。ここに訂正し、深くお詫び申し上げます。

『日本労働年鑑』第76集の特集1「JR福知山線脱線事故とJRの労使関係」の筆者のお一人である「安田浩一」さんのお名前が「安田和也」さんとなっております。安田和也さんも『日本労働年鑑』の筆者のお一人であったために、編集の過程で取り違い、このようなミスを犯すことになってしまいました。重ねてお詫び申し上げます。

法政大学大原社会問題研究所